



## 海洋緊急企画

### 緊急企画のお知らせ

海洋システム科では、新型コロナウイルスの影響で普通の授業や実習が出来なくなってしまっている。未知のものと戦う上では、それまでの経験や培ってきた知識や技術、能力など過去を生きることが大切だ。海洋通信では、今月号から「メモリアル海洋」を通じて昨年度の取組を紹介することにしたぞ！過去を生き、この未知の脅威を乗り越えよう！！



乗船実習(6月)



大野海岸清掃(7月)



養殖技術講習会①(10月)



養殖技術講習会②(11月)

## 昨年度 高校1年生

船の上で生活し、漁業に触れながら水産業界の面白さを学んだ！小学生たちと一緒に、大野浜海岸を掃除して美しい広田の海を守ったぞ！



## 今年度入学生 漕ぎ出せ！未来へ！



今年度、14名の生徒が海洋システム科に入学してくれた！高校は、社会という荒海で生き抜く力を身に付けるための場所だ。海洋システム科で漕ぎ出せ！未来へ！

## 先生の独り言 vol.2

**熱き魚雷** クロマグロは一度も休まずに一生泳ぎ続けることができる魚として知られている。本気になれば時速100kmで泳ぐことだってできる。しかし、クロマグロの体が他の魚と比べて、“温かい”ことはあまり知られていない。

クロマグロの体温は23℃ほどある。特に、人に釣り上げられるなどして激しく泳ぎ回った後は、体温が上昇し、30℃を超える。生きたクロマグロの体は“温かい”のである。他の多くの魚は、体温が周りの温度と同じであるため、触れば冷たい。この時期に岩手県で水揚げされる魚であれば、5~10℃ほどだろう。



なぜ、クロマグロの体は温かいのか？その秘密は血合筋にある。血合筋とは、焼き魚の身の茶色い部分のことであり、熱を生み出す力が大きい筋肉である。特に、クロ

マグロの血合筋は他の魚に比べて大きく、また、生み出した熱を血流にうまく伝える仕組みがあるため、体温を水温より温かく保つことができるのだ。

クロマグロはロケットのような体で素早く泳ぐ姿から、“魚雷”に例えられることがある。熱を帯びているあたりも、“魚雷らしさ”があるのである。

